

治水対策の充実

中川上流地区排の課題

- ・大雨により、農作物や農業施設等の湛水被害
- ・徹底した排水対策には、農業排水路と河川の一体的な整備が必要
- ・広大で、複数の自治体にまたがる本地域では、国営事業による排水対策が不可欠
- ・水稻だけに依存しない、高収益作物を導入した地域農業の活性化が重要

中川上流地区排水対策整備促進事業

■ 国営土地改良事業の概要

受益面積：約 6,580ha

関係団体：関東農政局、埼玉県、加須市、羽生市、久喜市、幸手市、
羽生領島中領用排水路土地改良区

■ 一級河川中川改修事業の概要

事業区間：古門樋橋（国道125号）から新槐堀川の合流点までの3.7km（先行整備区間）

事業内容：河川拡幅3.7km 橋りょう架替 県道1橋、市道4橋

事業主体：埼玉県行田県土整備事務所

今後、中川上流地区国営事業等推進協議会や関連自治体（羽生市、久喜市、幸手市）とさらに連携し、中川上流地区の排水対策を促進していく。

☆ 令和2年度予算額 212千円【市費】

中川上流地区排水対策整備促進事業 212千円
（中川上流地区国営事業等推進協議会負担金）

中川上流地区高収益作物導入推進事業

■ 事業の概要

中川上流地区での水田農業における経営の安定化を図るため、米中心の営農体系から、野菜を中心とする高収益作物を導入した営農体系への転換を推進する。

中川上流地区国営事業等推進協議会営農部会において、地区内の農業者に対し、1月に実施した中川上流地区での野菜等の取り組みの意向調査を踏まえて、営農計画を策定する。

☆ 令和2年度予算額 ゼロ予算事業